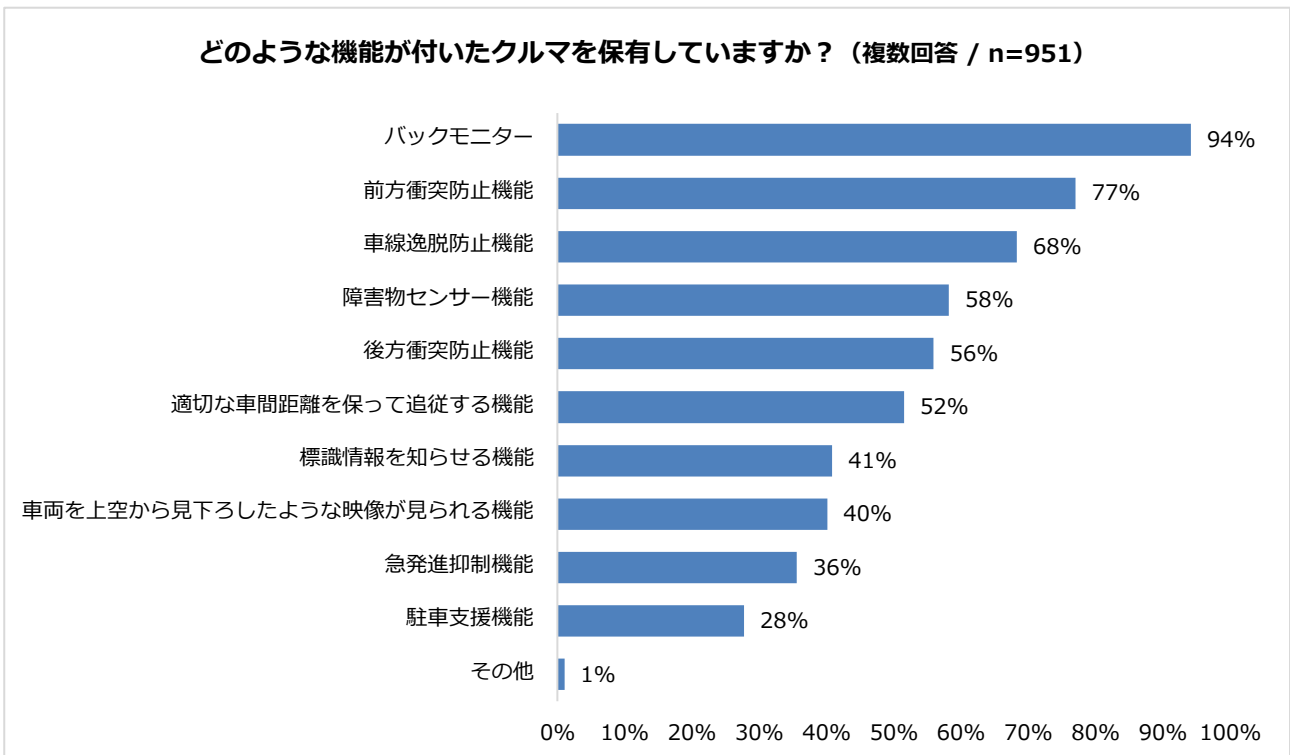


② 保有するクルマに付けている運転支援機能は「バックモニター」が最多

運転支援機能付きのクルマ保有者が搭載している機能は、「バックモニター」94%が最多でした。2位は、「前方衝突防止機能」77%、3位は「車線逸脱防止機能」68%となっています。運転技能の中で「駐車」・「バック」を苦手^{*}としている方が多いことや、2022年5月以降発売の新車には搭載が義務化されたことなどが、「バックモニター」の搭載率の高さにつながっていると推察されます。

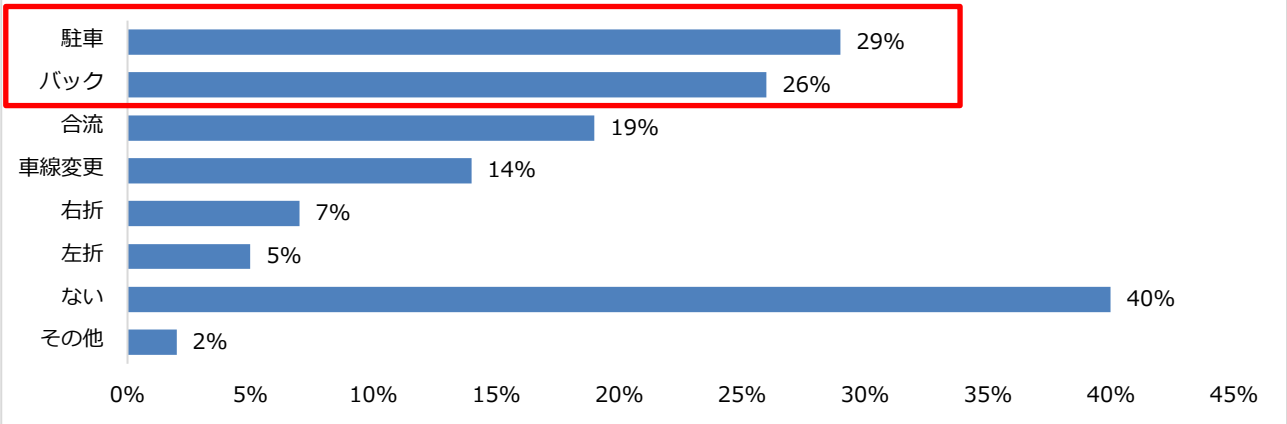
※出典：2021年2月9日当社発表プレスリリース『[自身の運転を「上手い」と認識する人は約3割 得意・苦手な運転技能はともに「駐車」がトップ](#)』





最も苦手な運転技能はなんですか？

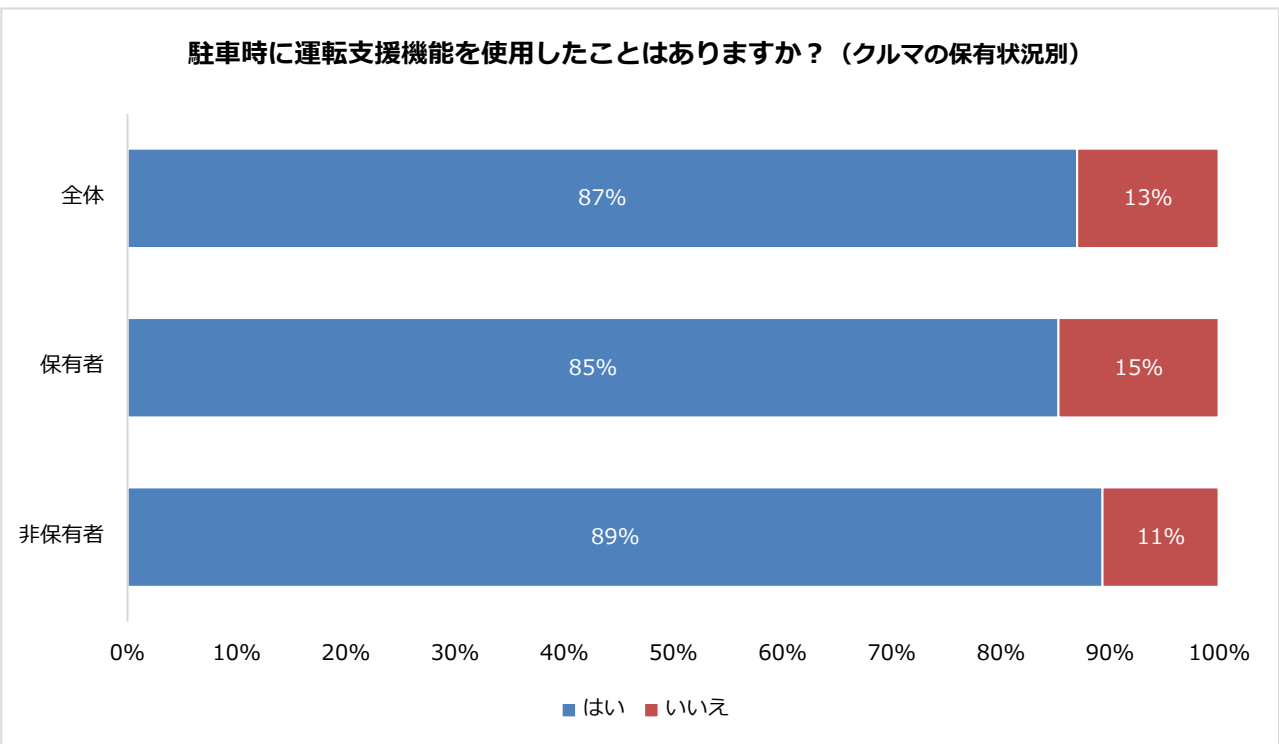
出典：パーク24「運転技能」に関するアンケート（2021年2月9日）



③ 駐車時に運転支援機能を使用したことがある人は 87%

苦手と感じている人が多い「駐車」時に、運転支援機能を使ったことが「ある」と回答した人は 87% でした。クルマの所有者よりも非所有者の比率がわずかながら高い理由としては、レンタカー・カーシェアリング事業者の貸出車両への運転支援機能の標準装備化が進み、利用するクルマに搭載されているケースが多いことが影響しているものと思われます。

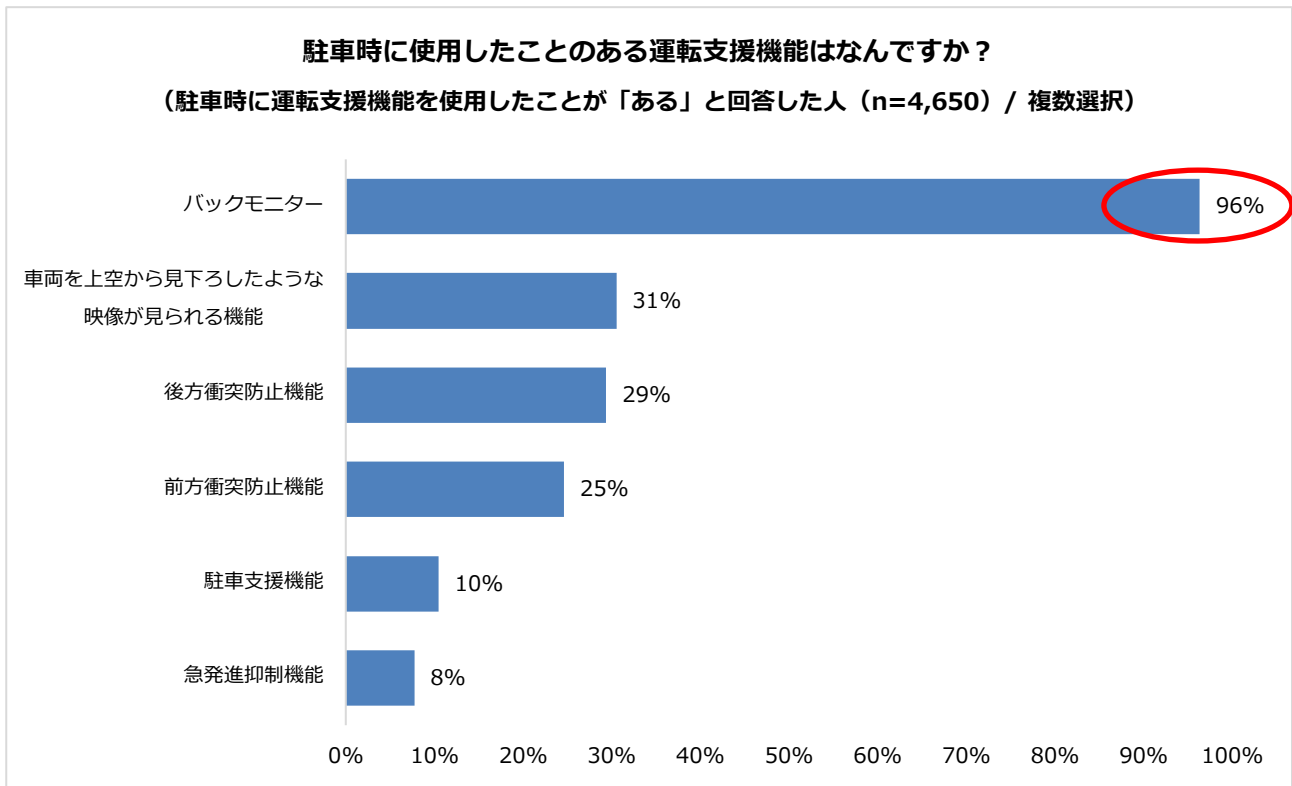
駐車時に運転支援機能を使用したことはありますか？（クルマの保有状況別）





④ 駐車時に使用したことがある運転支援機能は「バックモニター」が96%でトップ

駐車時に使用したことがある運転支援機能は「バックモニター」96%がトップで、2位の「車両を上空から見下ろしたような映像が見られる機能」31%と65ポイント差となっています。以降、「後方衝突防止機能」29%、「前方衝突防止機能」25%と続きました。



今回のアンケートでは、将来クルマに付けたい運転支援機能、既にクルマに搭載している運転支援機能ともに「バックモニター」がトップとなりました。

国交省は、新たに製造する自動車を対象に2022年5月から「後退時車両直後確認装置」、2023年9月から「クルマの前方全面を確認できる装置」の搭載を義務化しており、事故削減に向けた取組みを進めています。

カーシェアリングサービス「タイムズカー」でも、「バックモニター」の他に「コーナーセンサー」や「ブレーキサポート」などの運転支援機能を搭載したクルマを配備し、安心して運転できる環境を整備しております。車両情報の詳細ページ「安全装備」の欄から搭載機能をご確認いただけるため、まだ使用したことがない安全運転支援機能を体験してみたい方が多いのではないでしょうか。

■調査概要

調査対象：タイムズクラブ会員

(2022年8月31日以降に入会し、直近でパーク24グループのサービス※を利用された方)

※対象サービス：時間貸駐車場・予約制駐車場・カーシェアリング・レンタカー

調査方法：非公開型インターネットアンケート

調査期間：2023年8月31日～2023年9月11日

有効回答者数：5,342名

※調査結果は、四捨五入による端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。